

2018年1月27～28日

3000万人署名、名護市長選（立憲野党そろい踏み、状況・背景）、松元副大臣辞任、野中追悼、政局、ダボス会議

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

安倍9条改憲NO！3000万署名 3000万署名飛躍へ経験交流 憲法共同センターが集会



(写真)「運動を飛躍的に強めていこう」とよびかける自由法曹団の船尾団長＝27日、東京都内

全労連や新日本婦人の会(新婦人)などでつくる憲法共同センターは27日、安倍政権による9条改憲に反対する「3000万署名」の成功をめざす交流集会を東京都内で行いました。改憲発議をゆるさない運動の飛躍にむけて交流しました。

主催者あいさつした自由法曹団の船尾徹団長は、「市民と野党の運動として、改憲阻止の運動が全国各地で始まっています」と指摘。安倍政権による9条改憲の危険性を国民に広く訴え、「運動を飛躍的に強めていこう」と語りました。

討論で、新婦人の油原通江常任委員は、千葉県八街（やちまた）市にある支部の取り組みを紹介。「会員7人が知り合い200人に署名を送ると、およそ80人から返信があり、226人分の署名が寄せられました」

日本民主青年同盟(民青)の中山歩美副委員長は、「若者は改憲を求めています」と発言。「学生班が9条の会をつくり、学内で学習会を呼びかけるビラを配ると当日、同盟員ではない青年11人が参加した」と話しました。

名古屋市にある「千種名東（ちくさめいとう）市民アクション」で活動している男性は、自民党の元名古屋市議が後援会の集まりなどで「安倍9条改憲には反対だ」と話していると紹介。地元の牧師や市議など、著名な10人に呼びかけ人になってもらい、「その名前を署名に列挙して集めている」と話しました。

日本体育大学教授の清水雅彦さんが記念講演し、日本共産党の山添拓参院議員が国会情勢を報告しました。

5 野党、沖縄・名護でそろい踏み 安倍政権追及へ共闘ア

ピール

共同通信 2018/1/27 20:40

5野党の幹部らは27日、米軍普天間飛行場の辺野古移設が争点となる28日告示の同県名護市長選を前に名護市でそろい踏みした。米軍機を巡る不適切発言で松本文明内閣府副大臣が辞任した件を取り上げ、安倍政権を徹底批判。国会での追及へ向け、共闘する姿勢をアピールした。

民進党の増子輝彦幹事長は、小学校上空での米軍ヘリ飛行問題に触れ「こんな状況は許されない」と強調。共産党の志位和夫委員長は、松本氏に関し「首相の任命責任が問われる」と訴えた。

自由党の小沢一郎共同代表は「県民の怒りは積もっている」とした。社民党は吉田忠智党首、立憲民主党からは川内博史衆院議員が加わった。

5 野党、沖縄・名護でそろい踏み 安倍政権追及へ共闘ア
ピール

沖縄タイムス 2018年1月27日 20:30

5野党の幹部らは27日、米軍普天間飛行場の辺野古移設が争点となる28日告示の同県名護市長選を前に名護市でそろい踏みした。米軍機を巡る不適切発言で松本文明内閣府副大臣が辞任した件を取り上げ、安倍政権を徹底批判。国会での追及へ向け、共闘する姿勢をアピールした。



沖縄県名護市での街頭演説に参加した共産党の志位委員長（中央）と自由党の小沢共同代表（右）＝27日午後

民進党の増子輝彦幹事長は、小学校上空での米軍ヘリ飛行問題に触れ「こんな状況は許されない」と強調。共産党の志位和夫委員長は、松本氏に関し「首相の任命責任が問われる」と訴えた。

自由党の小沢一郎共同代表は「県民の怒りは積もっている」とした。社民党は吉田忠智党首、立憲民主党からは川内博史衆院議員が加わった。（共同通信）

5 野党、沖縄・名護でそろい踏み 安倍政権追及へ共闘ア
ピール

琉球新報 2018年1月27日 20:40



沖縄県名護市での街頭演説に参加した共産党の志位委員長（中央）と自由党の小沢共同代表（右）＝27日午後

5野党の幹部らは27日、米軍普天間飛行場の辺野古移設が争点となる28日告示の同県名護市長選を前に名護市でそろい踏みした。米軍機を巡る不適切発言で松本文明内閣府副大臣が辞任した件を取り上げ、安倍政権を徹底批判。国会での追及へ向け、共闘する姿勢をアピールした。

民進党の増子輝彦幹事長は、小学校上空での米軍ヘリ飛行問題に触れ「こんな状況は許されない」と強調。共産党の志位和夫委員長は、松本氏に関し「首相の任命責任が問われる」と訴えた。

自由党の小沢一郎共同代表は「県民の怒りは積もっている」とした。社民党は吉田忠智党首、立憲民主党からは川内博史衆院議員が加わった。

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

名護市長選きょう告示 稲嶺ススム市長必勝へ6党が勢ぞろい

米軍辺野古新基地建設の是非を最大争点に大激戦となっている沖縄県名護市長選は、28日告示（2月4日投票）されます。27日、稲嶺ススム市長の応援のために日本共産党、立憲民主、民進、自由、社民の国政5野党と、沖縄社会大衆党の党首・幹部がそろい踏みしました。6党が沖縄問題で一致したのは初めてで、新基地建設反対を貫く稲



(写真) 名護市長選、市議補選に勝利するためがんばろうと唱和する(左から)アシトミ、志位、小沢、屋比久、比嘉、稲嶺、川内、吉田の各氏＝27日、沖縄県名護市

嶺市長の3選を必ず、と訴えました。

この日始まった「名護さくら祭り」の多くの人出でにぎ

わった市街中心部。日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の川内博史常任幹事会議長、民進党の増子輝彦幹事長、自由党の小沢一郎代表、社民党の吉田忠智党首、沖縄社会大衆党の比嘉京子委員長代行らが、稲嶺市長とともに街頭に立つと、次々と通行人が足を止め、人垣が膨らみました。

稲嶺市長は、普天間基地所属の米軍機の事故が続発する異常事態にも「だから早く辺野古に基地を移すべきだ」と強弁する安倍政権に対し、「事故は普天間の周辺だけではない」と批判。危険な新基地は「絶対に造らせない」と訴え、「名護を政府いいなりの出張所にするわけにはいかない。名護のことは名護市民が決める」と力を込めました。

川内氏は、辺野古問題の争点化を避け、公開討論会を拒み続ける自民党候補について「(安倍政権の)うそと隠ぺい、ごまかしを象徴するかのようだ」と指摘。増子氏は稲嶺市長の勝利で「沖縄を変えて基地を止め、政治を変えていこう」と呼びかけました。

小沢氏は「稲嶺市政の継続で市民の命と、暮らし、平穏な沖縄の社会を守り、対等な日米関係を築く選挙」と力説。吉田氏は「最後まで『あの人の一票をあきらめない』を合言葉に、ともに頑張ろう」と訴えました。

一方、自民党候補の陣営は同党の山本一太参院議員が街頭に立ち「もう背中が見え、並ぶところまで来た。ここからが勝負だ」と氣勢を上げました。

志位委員長が訴え

志位氏は、25日の衆院本会議で沖縄全土での米軍機事故の続発を告発した際、松本文明内閣府副大臣が「それで何人死んだんだ」とヤジを飛ばして辞任したことについて、「私に対するヤジであるだけではなく、県民に対するヤジです」と述べた上で、「辞めればさむ問題ではない。安倍首相の責任が厳しく問われます」と厳しく批判しました。

志位氏は「安倍政権は米軍機が事故後、訓練を再開しても全て認めてきました。県民の声を踏みつけて辺野古新基地建設をゴリ押ししてきました。こうした姿勢が、あのヤジにつながったことは明らかです。稲嶺さんの勝利で、沖縄県民の人権も民主主義もないがしろにする安倍政権に厳しい審判を下そう」と訴えました。

志位氏は、安倍政権丸抱えの相手陣営が「どんなに反対しても工事は止められない」とデマ宣伝を繰り返していることについて、「工事は止められない」どころか、着手できたのは護岸工事だけであり、それも総延長のうち4%だけしか進んでおらず、肝心の埋め立て工事は着手の見通しすらないとズバリ指摘しました。

埋め立てに着手するためには、埋め立て予定地のど真ん中に流れ込む美謝(みじゃ)川の水路を変更しなければなりません。志位氏は「その権限をもっているのは名護市長です。辺野古新基地建設反対を貫く翁長雄志知事、稲嶺市長がいる限り、絶対に基地はつくれません」と力を込め、「再編交付金」に頼らずに市政を立派に前進させてきた実

績を紹介し、必勝を訴えると、交差点をぎっしり埋めた聴衆から指笛と大きな拍手がわきおこりました。志位委員長の訴え(要旨)

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

稲嶺市長がいる限り、辺野古新基地は絶対に造れない 志位委員長の訴え

稲嶺ススム名護市長の必勝を訴える支持政党街頭演説(同市内)での日本共産党の志位和夫委員長の訴え(要旨)



(写真) 稲嶺ススム市長(右)の応援演説をする志位和夫委員長=27日、沖縄県名護市

を紹介します。

みなさん、こんにちは。日本共産党の志位和夫です。(拍手)

大激戦の市長選挙、明日が告示日となりました。今日は、立憲民主党、民進党、自由党、社民党、社大党の代表のみなさんと一緒に、稲嶺ススム市長の勝利を必ずと訴えにあげました。(拍手)

「それで何人死んだんだ」——安倍首相の任命責任が問われる

国会でとんでもない出来事が起こりました。

私は、一昨日、衆院本会議で代表質問に立ち、沖縄の米軍基地問題をただしました。米軍機の事故が沖縄全土で続発していること、危険な基地はどこに移しても危険であり、普天間基地は無条件に撤去する、辺野古新基地の建設は中止する、海兵隊は沖縄から撤退する——これが唯一の解決方法ではないかと安倍首相にただしました(拍手)。首相はまともな答弁ができませんでしたが、とんでもないヤジが自民党席から飛んできました。

自民党の松本文明内閣府副大臣が、「それで何人死んだんだ」とヤジったんです(「許せない」の声)。私は、今年で、国会議員になって25年、いろいろなヤジを浴びてきましたが、今回が一番悪い。なぜならこのヤジは私に対するヤジであるだけじゃない、県民のみなさんに対するヤジだからです(拍手)。恐ろしいヤジです。「死者が出ていないんだからいいだろう」といわんばかりのヤジです。

保育園や小学校に米軍ヘリから部品や窓が落ち、一步まちがえば大惨事ということが起こった。それを指摘した質問に、「それで何人死んだんだ」。これは恐ろしいヤジです。批判にあわてて副大臣を辞任しましたが、辞めればすむというものではありません(「そうだ」の声、拍手)。こんなとんでもない人物を副大臣にした安倍首相の責任が厳しく問われます。(「そうだ」の声、拍手)

沖縄県民の人権も民主主義もないがしろにする安倍政権に厳しい審判を

さらにいえば、安倍政権の沖縄のみなさんに対する姿勢がこんな発言につながったのではないのでしょうか。

米軍機は事故を起こしても、すぐに訓練を再開してしまう。その時に安倍首相が、一度でも「飛ぶな」といったことがありますか(「ない」の声)。すべて認めてきたじゃないですか(「そうだ」の声)。県民の声を踏みつけにして辺野古の新基地建設をこり押ししてきたではありませんか。そうした姿勢が、あの暴言につながったことは明らかであります。(拍手)

稲嶺ススムさんの勝利を何が何でも勝ちとって、沖縄県民のみなさんの人権も民主主義もないがしろにする安倍政権に厳しい審判を下そうではありませんか。(指笛、大きな拍手)

安倍政権丸抱え陣営の卑劣きわまるデマ宣伝にこたえる

安倍政権丸抱えの相手陣営は、「どんなに反対しても工事は止められない。それなら再編交付金をもらったほうがいい」。こういうことを言っています。これは卑劣きわまるデマ宣伝だといわなければなりません(拍手)。4点ほど話したいと思います。

第一に、辺野古の新基地建設は、沖縄県からの岩礁破碎許可を得ていない「違法工事」です。安倍政権がやっていることは法治国家では許されない違法行為です。「違法工事はただちに中止せよ(「そうだ」の声、拍手)。この声をススム市長に託そうではありませんか。(拍手)

第二に、「工事は止められない」といいますが、工事が着手できたのは護岸工事だけです。それも護岸総延長のうち、たったの4%しか進んでいません。肝心の埋め立て工事は、工事着手の見通すらありません。翁長知事、稲嶺市長、県民のみなさんの頑張りが工事を止めている。これが現状じゃないですか(「そうだ」の声)。追い込まれているのは安倍政権です。追い込んでいっているのは「オール沖縄」のみなさんだということに自信を持って頑張ろうではないですか。(拍手)

第三に、新基地建設反対を貫く翁長知事、稲嶺市長がいる限り、絶対に辺野古新基地はつくれません(拍手)。埋め立て工事に着手しようとするれば、埋め立て予定地のど真ん中——大浦湾に流れ込む美謝川の水路を切り替えなければなりません。切り替えなくて埋め立てをしたら、すぐ水浸しになってしまいます。そして水路の切り替えの権限をもつ

ているのは稲嶺ススム市長です。ススム市長が頑張っているかぎり、工事は進まない(笑い、拍手)。ここに確信をもって頑張ろうではありませんか。(大きな拍手)

「再編交付金」に頼らず、名護市政を立派に前進

第四に、稲嶺市長は、「再編交付金」に頼らずに、名護市政を立派に前進させてきました。基地に関係のない国の補助金を調べあげて、活用し、歳入を総額508億円も増やしてきました。

県内11市で一番最初に、子どもの医療費を中学校卒業まで入院・通院ともに事実上無料にしました。県内11市で国保会計への市の繰り入れが一番この名護市が多い。国保税が一番安いのがこの名護市です。基地に頼らずに、自分の足で立ち、市民とともに進む——稲嶺ススム市長でこそ、誇りと尊厳ある名護の市政を前進させることができるのではないのでしょうか。(「そうだ」の声、指笛、大きな拍手)

稲嶺ススムさんで基地を止め、「子どもの夢 未来 紡ぐ名護のまち」を

辺野古新基地ができたらオスプレイは普天間基地の4倍の100機にもなります。耐用年数200年です。子や孫の世代にそんな物騒なものを残すわけにはいきません。

「辺野古の海にも陸にも基地はつくらせない」。これでずっと頑張り続けてきた稲嶺ススムさん。ウチナーグチでいいますと、「ガージュエでマクトゥな政治家」(強く誠実な政治家)ではないでしょうか(拍手)。稲嶺ススムさんで基地を止め、「子どもの夢 未来 紡ぐ名護のまち」をつくらうではありませんか。最後までご支援、広げに広げてください。必ず勝ちましょう。(指笛、大きな拍手)

稲嶺、渡具知氏届け出＝辺野古移設で対決一名護市長選



任期満了に伴う名護市長選が告示され、第一声を上げる現職の稲嶺進氏＝28日午前、沖縄県名護市

任期満了に伴う沖縄県名護市長選が28日告示され、現職で3選を目指す稲嶺進氏(72)＝民進、共産、自由、社民推薦、立憲支持＝と、新人で元市議の渡具知武豊氏(56)＝自民、公明、維新推薦＝の無所属2人が立候補を届け出た。米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古への移設阻止を掲げる翁長雄志知事らの勢力が稲嶺氏を、移設を推進する与党が渡具知氏を支援して対決。2月4日に投開票され、結果は秋の知事選を占う。



沖縄県名護市長選が告示され、第一声を上げる渡具知武豊氏＝28日、同市

稲嶺、渡具知両氏は28日午前、それぞれ出陣式に臨んだ。稲嶺氏は「政府が丸抱えで応援しているのは辺野古を進めたいからだ。それをさせてはいけない」と移設阻止を訴えた。渡具知氏は「8年間で市民の暮らしは良くなったのか。一つの問題にこだわり過ぎて、市民の生活を置き去りにしてきた」と批判した。

選挙戦は、政府が昨年4月に着手した辺野古の護岸工事が進む中で行われる。稲嶺氏は「辺野古に基地を造らせないことが子どもたちの未来につながる」と一貫して移設反対を主張。翁長氏は自身の再選をにらんで稲嶺氏を後押しし、移設反対の民意を示したい考え。一方、渡具知氏は地域振興を前面に掲げ、移設について「国と県の裁判を注視する」との姿勢を示すが、市議時代は容認していた。与党は市政奪還で移設工事加速を狙う。

辺野古移設が市長選の争点となるのは通算6回目。容認派が1998年から3回勝利した後、2010、14両年は反対派が連勝。今回は米軍機の相次ぐ事故や、これに関する松本文明前内閣府副大臣のやじ問題も選挙戦に影響を与えそうだ。

◇名護市長選立候補者名簿

稲嶺 進	72	元市教育長	無現
渡具知武豊	56	元市議	無新

(届け出順)

(時事通信 2018/01/28-12:12)

名護市長選が告示 稲嶺進、渡具知武豊氏が立候補届け出 沖縄タイムス 2018年1月28日 10:35

任期満了に伴う2月4日投開票の名護市長選が28日告示され、3選を目指す現職の稲嶺進氏(72)＝無所属、社民、共産、社大、自由、民進推薦、立憲民主支持＝と、前市議で新人の渡具知武豊氏(56)＝自民、公明、維新推薦＝の2氏が立候補を届け出た。



出発式で支持を訴える稲嶺進氏（右）と渡具知武豊氏＝28日午前9時すぎ、名護市内

米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設の是非が最大の争点。稲嶺氏は移設に反対する翁長雄志知事ら「オール沖縄」勢力、渡具知氏は移設を推進する政府・与党から支援を受ける。両候補は同日午前、市内で出陣式を行った。

稲嶺氏は「すべては子どもたちの未来のため。平和で安心、安全な環境をつくるのは大人の責任だ。辺野古に新しい基地を造らせてはならない」と訴えた。

渡具知氏は「現市政8年間で景気、暮らしは良くなったのか。答えはノーだ。こんな名護市ではいけない。新しい風を吹かせよう」と支持を呼び掛けた。

辺野古移設を巡って県と国の対立が激しさを増す中、名護市長選は秋の知事選の前哨戦として注目されている。

稲嶺氏、渡具知氏一騎打ちへ 名護市長選、2氏届け出 琉球新報 2018年1月28日 09:04



（左）出発式で第一声を発する稲嶺進候補＝28日午前9時15分ごろ、名護市大中の選挙事務所（右）出陣式で第一声を発する渡具知武豊氏＝28日午前9時ごろ、名護市大南

【名護】任期満了に伴う名護市長選が28日告示された。届け出順に3選を目指す現職の稲嶺進氏（72）＝社民、共産、社大、自由、民進推薦、立民支持＝と新人で前市議の渡具知武豊氏（56）＝自民、公明、維新推薦＝の2氏が立候補を届け出た。一騎打ちとなる見通し。米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設問題が最大の争点になる。

辺野古移設のほか、医療・福祉や経済振興、子育て・教育などを巡り、それぞれの政策を訴え、1週間の選挙戦を繰り広げる。

稲嶺氏は辺野古移設の阻止を訴える。

市大中の選挙事務所前で出発式を開き「名護市の未来、子どもたちの未来、県の未来を決定づける大事な選挙だ。

子どものため何を考え、行動するのか求められている。辺野古（移設）を進めさせてはいけない」と訴えた。

渡具知氏は移設の是非を示さず経済振興を訴える。

市役所前で出陣式を開き「8年間で市民の暮らしは良くなったのか。答えはノーだ。市民生活を向上させ、この街の景気と暮らしを良くするため、名護市長になりたい。名護に新しい風を吹かせ、輝く街にしていこう」と訴えた。

名護市長選と同時に行われる市議会議員補欠選挙（欠員1）は、いずれも無所属・新人で、北部地域振興協議会職員の仲尾ちあき氏（47）とヘリ基地反対協共同代表の安次富浩氏（71）が立候補を届け出た。

市の選挙人登録者数は27日現在、4万9372人（男性2万4331人、女性2万5041人）。【琉球新報電子版】

沖縄 名護市長選告示 現職と新人が立候補 NHK1月28日 11時39分



沖縄県名護市の市長選挙が28日に告示されました。アメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設阻止を掲げる現職と、今の市政は移設の問題にこだわりすぎているとして経済活性化の必要性を訴える新人の2人が立候補しました。名護市長選挙にこれまでに立候補したのは、届け出順に、▽民進党、共産党、自由党、社民党、地域政党の沖縄社会大衆党が推薦し、立憲民主党が支持する現職の稲嶺進氏（72）と、

▽自民党、公明党、日本維新の会が推薦する新人の元市議会議員、渡具知武豊氏（56）の2人です。

2人は届け出を済ませたあと、支持を呼びかけました。

稲嶺氏は、「子どもたちの未来にとって大切なのは、平和で安心して勉強やスポーツができる環境を作ること、辺野古に新基地を造らせてはいけない。翁長知事と私がいるかぎり、埋め立ては進まない」と訴えました。

渡具知氏は、「今の市政は、あまりにも1つの問題にこだわりすぎて市民の生活を置き去りにしてきた。この町の経済を回復させていくための経済プランを大きく掲げ、それを実行していくことを誓う」と訴えました。

今回の選挙は、アメリカ軍普天間基地の辺野古への移設に向けて去年4月に始まった護岸工事が進む中で行われます。移設を阻止し、この問題に終止符を打ちたいとして3期目を目指す稲嶺氏を、多くの野党や沖縄県の翁長知事が支援する一方、「沖縄県が工事の差し止めを求めている裁判を注

視する」としている渡具知氏を与党などが支援する構図です。

選挙戦では、地域振興の在り方などをめぐっても論戦が交わされる見通しです。名護市長選挙の投票は来月4日に行われ、即日開票されます。

辺野古移設が最大争点 名護市長選挙告示 稲嶺、渡具知氏一騎打ちへ

琉球新報 2018年1月28日 06:30



渡具知武豊氏

稲嶺進氏

任期満了に伴う名護市長選が28日告示される。米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設問題を最大の争点に、3選を目指す現職の稲嶺進氏(72)＝社民、共産、社大、自由、民進推薦、立民支持＝と、新人で前市議の渡具知武豊氏(56)＝自民、公明、維新推薦＝が立候補を予定しており、一騎打ちとなる見通し。告示直前の27日にも両氏を支援する各党党首や国会議員が応援に入り、市内を遊説するなど2月4日の投開票に向けて前哨戦が繰り広げられた。

1996年の日米両政府による普天間飛行場の移設・返還合意から20年余り。辺野古移設問題が争点化して以来、6度目の市長選になる。政府は2017年4月、大浦湾の埋立工事に着手、27日現在、5カ所で護岸工事を進めている。工事が完了した護岸はない。17年11月には石材の海上搬送を始めるなど、工事を加速させている中で、改めて新基地建設の是非が問われる。

稲嶺氏は「子の未来に責任を持つ大人として新基地は造らせない」と訴え、辺野古移設阻止を堅持する。渡具知氏は移設是非を示さず「まちづくりに力を入れ、明るさを取り戻していく」と経済振興を訴える。

28日午前8時半から、稲嶺氏は市大北の選挙事務所前で出発式を開き、渡具知氏は市役所前で出陣式を開く。

市長選と同日程で、欠員1が生じている同市議補選も行われる。名護市の選挙人名簿登録者数(17年12月1日現在)は4万9241人(男性2万4264人、女性2万4977人)。

名護市長選、28日告示＝現職側、副大臣やじを批判

任期満了に伴う沖縄県名護市長選は28日告示される。米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古移設の是非が最大の争点で、移設阻止を掲げる現職と、移設を推進す

る与党が総力を挙げて支援する新人の一騎打ちの構図。また、相次ぐ米軍機事故をめぐる松本文明前内閣府副大臣のやじを受け、現職側は安倍政権への批判を一段と強化。これに対し与党側は逆風を防ごうと懸命だ。投開票は2月4日。

立候補を予定しているのは、3選を目指す現職の稲嶺進氏(72)＝民進、共産、自由、社民推薦、立憲支持＝と、新人で元市議の渡具知武豊氏(56)＝自民、公明、維新推薦＝。

稲嶺陣営の応援に入った野党幹部らは27日、松本氏が国会で米軍機事故に関して「それで何人死んだんだ」とやじを飛ばしたことを問題視。共産党の志位和夫委員長は街頭演説で「辺野古の新基地建設をゴリ押ししてきた政権の姿勢が暴言につながった」と指摘した。自由党の小沢一郎代表も記者団に「問題外、論評外だ」と非難。翁長雄志知事は「沖縄に対する認識が全くない」と憤りをあらわにした。

稲嶺氏は演説でやじ問題に触れなかったものの、「米軍や政府は早く辺野古に移した方が良いと言っているが、名護市の未来のためにあんな危ないものはいない」と訴えた。

一方、渡具知氏は松本氏のやじについて、記者団に「沖縄のことを本当に分かっていない。言語道断だ」と不快感を表明。応援に駆け付けた自民党の山本一太元沖縄担当相も「本当に不適切な発言だ。政府は気を付けてもらわないといけぬ」と苦言を呈した。与党は週明けからの国会審議で沖縄振興について積極的に取り上げ、やじ問題の打撃を最小限に抑えたい考えだ。(時事通信 2018/01/27-20:17)

名護市長選あす告示 新基地争点に激戦へ 市議補選も

琉球新報 2018年1月27日 07:00



渡具知武豊氏

稲嶺進氏

2月4日投開票の沖縄県名護市長選は28日に告示される。3期目をを目指す現職の稲嶺進氏(72)＝社民、共産、社大、自由、民進推薦、立民支持＝と、新人で前市議の渡具知武豊氏(56)＝自民、公明、維新推薦＝の2人が既に立候補を表明し、一騎打ちとなる見通しだ。米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設が最大の争点となっており、名護市長選の結果が11月にも予定される県知事選に大きく影響するとみられる。市長選と同日に告示、投開票となる名護市議補選には、欠員1に対し2人が立候補する見込み。

稲嶺氏は23日の総決起大会で、3期とも子どもを政策の柱に掲げてきたとし「次代を担う子どもを育てる大人の責任として新基地は造らせない」と話した。

渡具知氏は22日の総決起大会で「まちづくり、子育て支援に力を入れて、この町の明るさを取り戻していく」と宣言。政府と協議し予算を獲得するとした。

稲嶺氏は28日午前8時半から市大北の選挙事務所前で出発式を行う。渡具知氏は28日午前8時半から市役所前で出陣式を開く。

市の選挙人登録者数は26日現在、4万9241人（男性2万4264人、女性2万4977人）。

（名護市長選取材班）

名護市長選告示、現新2氏届け出 辺野古問題が焦点に

朝日新聞デジタル 2018年1月28日 08時47分

沖縄県名護市の市長選が28日告示され、3選をめざす現職の稲嶺進氏（72）＝民進、共産、自由、社民、沖縄社会大衆推薦、立憲支持＝と、前市議の新顔渡具知（とぐち）武豊氏（56）＝自民、公明、維新推薦＝の2人が立候補を届け出た。投開票は2月4日。

工事が進む辺野古への米軍普天間飛行場（宜野湾市）移設計画の是非が焦点。移設をめぐる市長選が争われるのはこれで6度目となる。

稲嶺氏は過去2回と同様「海にも陸にも新しい基地を造らせない」と主張。政府から米軍再編交付金を打ち切られた後も市政を運営してきた2期8年の実績を強調する。移設に反対する翁長（おなが）雄志（たけし）知事と「オール沖縄」勢力が支援する。

渡具知氏は、移設について県と政府が係争中の訴訟の「推移を見守る」と述べるにとどめ、国の財政支援を得ての観光開発や地域振興を訴える。安倍政権が全面的に応援し、政権や与党の幹部らが次々と応援に入っている。

基地マネー、拒否貫くか受け取るか どうなる名護市長選

朝日新聞デジタル 岡田将平、上遠野郷 2018年1月28日 05時06分

在日米軍再編に協力する自治体に交付される「再編交付金」。国からの「基地マネー」の一つだが、沖縄県名護市は米軍普天間飛行場（宜野湾市）移設に反対しているため交付されていない。今後も受け取らずに反対を貫くか。移設を受け入れて受け取るか――。市民は揺れながら28日の市長選告示を迎える。

「再編交付金がなくても、安定した財政を築いてきました。あんな危ないもの（基地）を持ってこなくていい」。23日に名護市で開かれた集会。3選をめざす現職の稲嶺進氏（72）＝民進、共産、自由、社民、沖縄社会大衆推薦、立憲支持＝が訴えると、支持者から拍手がわいた。

再編交付金は、普天間飛行場の移設といった米軍再編計

画で負担が増える自治体に交付される。2007～16年度に全国19施設を抱える延べ47市町村に約838億円が交付された。

名護市も移設容認の姿勢だった08年度に約14億円、09年度には約3億8千万円を受け取り、道路整備などに充ててきた。



絡む名護市などへの交付金



だが10年の市長選で移設反対の稲嶺氏が当選すると、交付は止まった。市の13事業が宙に浮き、2事業は中止や保留となった。ただ11事業は、12年度にできた沖縄振興一括交付金など別の財源をあてて継続。市によると8事業が終わり、残りの3事業もめどがついたという。

市立久辺(くべ)中学校の体育館の建て替えもその一つ。11年度だった完成予定は遅れたが、文部科学省の補助を受けて新年度に完成する。市の担当者は「もともと再編交付金はなかったため、それがなくなったといって、(財政が)困るという話ではない」と語る。

稲嶺市政の8年間で、財政調整基金などの積立金は38億円から72億円に増えた。一方で、借金である市債残高は、221億円から270億円超に増えた。

自民などが推す前市議の新顔渡具知（とぐち）武豊氏（56）＝自民、公明、維新推薦＝はこの点を突く。借金増加は稲嶺市政が移設反対に固執しすぎているためだとし、再編交付金を含め「国から受け取れる財源は受け取る」と主

張する。22日に開いた集会では「政府としっかり協議し、ありとあらゆる予算を獲得するために汗をかく」と声を張った。ただ、普天間移設については、ほとんど触れない。

名護市は沖縄本島北部の中心都市だが、基幹病院整備や教育環境の遅れなども指摘され、集客力の大きな観光施設も少ない。好景気に沸く沖縄で「発展から取り残されている」と感じる市民も多い。

介護職の30代男性は「名護は遊ぶところ、消費するところがない。交付金で地域を活性化できれば」。同世代には名護には仕事がないと言って、本土などで暮らす人が多いという。

東京商工リサーチ沖縄支店によると、16年度、県内で純利益が2千万円以上だった企業の数は902社と前年度より1割以上増え、8年連続で過去最多を更新した。利益を伸ばした県北部の企業も多い。40代の建設会社員は「現実には仕事があるから問題ない。もらえるならもらった方がいいと思うけど」と話す。

電気設備会社に勤める50代の男性は、民間も含めて工事が増えているといい「かえって人手が足りない状況」と話す。「基地」での対立による経済への悪影響はあまり感じないし、受け取らない方がいいと考えている。「お金をたくさんもらおうと、頭を働かせなくなってしまう」（岡田将平、上遠野郷）

基地関係収入3・5%

「基地マネー」は、沖縄の自治体財政のどれくらいを占めるのか。

一つの指標となるのが、沖縄県が毎年公表している米軍や自衛隊の基地関係収入だ。この中には、「再編交付金」のほか全国の基地所在自治体に交付されている「基地交付金」や「調整交付金」、土地の賃料などが含まれる。2015年度、県内41市町村のうち28市町村に基地関係収入があった。再編交付金は4市町村が受け取っており、総額は8億4千万円。

沖縄では軍用地の65%が自治体や個人の所有（16年3月末）のため、土地の賃貸料である「軍用地料」の額が大きい。ただ自治体歳入に占める基地関係収入の割合は市町村の平均で3・5%に過ぎない。名護市は31億8千万円で7・3%。うち約3分の2が軍用地料だった。

<名護市長選告示>変わる海、揺れる人 辺野古移設是非問う

毎日新聞 1/28(日) 7:30 配信

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設計画の是非が問われる名護市長選が28日に告示された。計画が浮上して21年。沖縄県の反対を押し切り、政府が埋め立てに向けて護岸工事を進める辺野古の海を前に、海人（うみんちゅ）（漁師）の心は揺れている。

「見てみ、こんなに変わってさ」。エメラルドグリーンの

辺野古の海を指さし、50代の男性漁師がつぶやいた。視線の先では、埋め立てにあたる重機が作業していた。



漁船が停泊する辺野古漁港。奥には、移設工事を進める複数の重機が見える＝沖縄県名護市辺野古で、2018年1月18日、川上珠実撮影

2013年に名護漁協は移設に同意し、埋め立て区域の漁業権を放棄した。男性は同意した理由について「移設は国と国の問題。『造るな』と言っても、国は聞かないさ。条件闘争するしかない」と語る。漁のない日に週2～4回、自分の船に「ODB（沖縄防衛局）」と記した紫色の旗をはためかせ、反対派の抗議船をけん制する「警戒船」として沖に出る。

警戒船には国から日当が出るため、以前より収入は増えた。ただ埋め立て作業が進む海を船上から眺めると寂しくなり、「海人は、ばかだった」との思いがよぎる。ブダイや夜光貝が取れる豊かな海。長男が幼いころにぜんそくが出た。海水浴が療養になると聞き、よく一緒に泳いだ。2人の娘も海遊びが好きだった。

抗議船から工事中止を求める声が上がると、いらだちが募る。「本音は誰だって100%嫌さ……」

70代の男性漁師はあいまいに歯切れが悪く語る。「反対か賛成か、何とも言えない」。国は漁業補償金として名護漁協に数十億円を支払った。漁協がそれを分配し、男性も漁師を継いだ息子も生活のために受け取った。一昨年の12月、男性宅近くの海辺に、普天間飛行場所属の垂直離着陸輸送機オスプレイが不時着・大破した。「（移設すれば）米軍機がくる。本当は怖いさ」。男性はそう続ける。

一方で、海を守ろうと、住民たちの中に新たな漁協設立を目指す動きがある。名護漁協に属せずに個人で漁をしている人などが、新漁協で埋め立て区域の漁業権を取得しようとしている。

新漁協の推進委員会の委員長、久志（くし）常春さん（69）は「この辺りの住民はみんな海と生きてきた」と話す。魚や貝、海藻を取り、海で厄災を清める春の伝統行事「浜下り」の日は、家族で波打ち際に行って裸足で押し寄せる波の感触を楽しんだ。

今後の県の審査で漁業権が認められれば、国は対応を迫られる可能性もある。久志さんは力を込める。「誰の海か。みんなの宝の海さ」【川上珠実】

再編交付金 稲嶺氏と渡具知氏の戦略は？【決戦・名護市長選 3】

沖縄タイムス 2018年1月28日 08:11

◆公約の財源に 渡具知氏

「(協調できる) 態勢ができていれば党本部も名護、沖縄の振興はしっかり責任持ってやりますから」



拡大する

(左) 街頭で支持を呼び掛ける稲嶺進氏＝8日、名護市大北(右) 街頭で支持を訴える渡具知武豊氏＝6日、名護市内

26日、名護市長選の応援で2度目の名護入りとなった自民党の二階俊博幹事長が渡具知武豊氏の選挙事務所を訪れ、当選の暁には地域振興に全面協力する旨を明言した。

自民党三役が度々名護入りし、地域振興を確約して一人の首長候補を支援する一。こうした選挙風景は他の自治体では見ない。「国策のど真ん中ですから。それに見合った財政支援は当然受けるべきだ」。陣営関係者は率直に言った。

渡具知氏は目玉政策として給食費無料化など子育て支援策を前面に出し、総予算を約10億円と見込む。渡具知氏が期待する財源の一つは、普天間飛行場の辺野古移設を含む米軍再編に協力が前提の再編交付金。名護市は新基地容認派の前市長時代、年間10億円程度の交付を受けていた。

最大争点の新基地建設問題に対して渡具知氏は「県と国の裁判を注視する」と是非を語っていないが、陣営は工事が進んでいることも踏まえ「基地問題はすでに名護市の手を離れている」との見方を示す。

防衛省関係者は「賛否を示さなくても交付している自治体は全国にある」とし、渡具知氏の現時点の姿勢は交付可能との認識を示す。

◆頼らず市政推進 稲嶺氏

基地と引き換えのカネはいらない一。現職の稲嶺進氏が市政を担ってきたこの8年間、訴え続けているのは「再編交付金に頼らないまちづくり」だ。

「憤りしかない。国のアメとムチの手法があからさまになった」。2010年12月24日、沖縄防衛局が名護市へ再編交付金を支給しない方針を伝えた際、稲嶺氏は怒りをあらわにした。辺野古新基地建設に反対しているその姿勢を戒めるような凍結措置だったが、同氏は対象事業について「いろんな制度を発掘し、予算を充てる」と前を向いた。

その後、名護市は再編交付金事業を沖縄振興一括交付金事業に振り替え、ほかの補助金メニューを利用するなどして財源を確保してきた。稲嶺陣営は「職員のアイデアと市民の力で、再編交付金があった前市政よりも年平均で77億円の予算を増やせた」とPRしている。

23日の総決起大会で、稲嶺氏は壇上から力を込めた。「名護市は県内自治体でも上位の安定した財政を築いた。再編交付金がなくてもできるのであれば、わざわざあんな危ない基地を持ってこなくてもいい」

稲嶺氏を支援する翁長雄志知事も応援演説で、国が示す振興策と基地を引き換えにしてはならないと訴え、「沖縄県と名護市、子や孫の誇りのために頑張りましょう」と呼び掛けた。(名護市長選取材班)

「オール沖縄」と自公体制 枠組みに強み生かす【決戦・名護市長選 2】

沖縄タイムス 2018年1月27日 08:11

◆「オール沖縄」全力支援一稲嶺陣営

「公務が空けば全部入る。その態勢を整えるように」。翁長雄志知事は、名護市長選で支援する稲嶺進氏の陣営に伝えている。翁長知事は昨年1月以降、4回名護入りしている。今月27日も遊説する。陣営関係者は「自ら街宣カーで回るなど精力的だ」と、稲嶺氏勝利への並々ならぬ決意を感じ取っている。



【右】市内を遊説し、支持を訴える稲嶺進氏と翁長雄志知事＝8日、名護市大北【左】総決起大会で公明党県本の金城勉代表と手を取り合う渡具知武豊氏＝22日、名護市民会館

「非常に厳しい戦いになる。辺野古新基地反対の市長がいなくなれば『オール沖縄』には大きな痛手だ」。昨年12月17日、沖縄市。「新しい風・にぬふあぶし」の会合に参加した翁長知事は、言葉同様、厳しい表情で訴えた。「にぬふあぶし」は翁長知事を支える保守・中道の市町村議でつくる政策集団。議員らは1月から市内での遊説や、保守系の選挙運動の常とう手段である企業訪問も徹底している。知事選も見据え、稲嶺氏3選へ全力を挙げる。

米軍普天間飛行場の辺野古移設を巡り日米が現行のV字形滑走路案で合意した2006年以降の市長選で、反対候補を現職知事が支援するのは初めて。陣営関係者は「北部地域の住民にとって重要な基幹病院の責任者は知事だ」とし、県政とのパイプの重要性を強調する。一方、別の関係者は、「一部地域では辺野古の工事が進められる現状へのあ

きらめ感もある。最大の争点は辺野古だが、いかに経済政策なども浸透できるか」と課題を挙げた。

◆自公体制 相乗効果狙うー渡具知陣営

渡具知武豊氏も4年前の保守陣営と異なる枠組みで市政奪還を狙う。

「稲嶺氏でも渡具知氏でも基地問題は変わらないと思う。だが、市民の生活を変えられる人を支援したい」

1月10日、恩納村谷茶。公明の支持母体、創価学会が米軍の核ミサイル「メースB」基地跡地に構える研修道場で開かれた代表幹部会。学会トップの原田稔会長も出席する中で、公明県本の金城勉代表は渡具知氏を推薦した名護市長選での支援を訴えた。

前回敗れた自民推薦候補は辺野古「推進」のため、反対の公明県本は自主投票。渡具知氏は辺野古は裁判を見守るとしつつ「海兵隊の県外国外移設」を掲げ、公明からの推薦にこぎ着けた。

公明は県内市長選で初めて単独で事務所を設置し、党本部選挙部の職員が常駐。全県・県外の支持者が地域回りの応援に入るなど総力戦を展開する。自民も菅義偉官房長官や二階俊博幹事長ら重鎮が来県し、経済関係者に支援を求めるなど、自公体制の相乗効果を狙う。陣営関係者は「候補者決定も早く準備期間が長い。自公だけでなく維新の推薦もあり態勢は万全だ」と自信をのぞかせる。

一方で、別の関係者は「辺野古をはっきりさせないことに、容認する保守の一部が不満を持ち、取れる票をとりこぼす可能性もある」と、辺野古を争点としない「副作用」を懸念した。(名護市長選取材班)

(写図説明) 市内を遊説し、支持を訴える稲嶺進氏(左)と翁長雄志知事=8日、名護市大北

(写図説明) 総決起大会で公明党県本の金城勉代表(右)と手を取り合う渡具知武豊氏=22日、名護市民会館

南城市長選の衝撃 両陣営、選挙戦略の強化へ【決戦・名護市長選 1】

沖縄タイムス 2018年1月26日 08:11

◆僅差勝利、勢いづく現職

「カーリーをもらおう」



65票差の大接戦だった南城市長選。当選確実となりバンザイして喜ぶ瑞慶覧長敏氏(中央)

23日、稲嶺進氏の後援会事務所。南城市長選で保守系現職に勝利した瑞慶覧長敏氏が現れ、数分後に翁長雄志知事も到着。名護市辺野古の新基地建設に反対する「オール沖縄」勢力の主役3氏が手を握り合った。

瑞慶覧氏は稲嶺氏と市内を遊説し、総決起大会でエールを送るなど陣営の盛り上げに一役買った。

翁長知事も大会の3時間前から市内で街宣。「南城市で『オール沖縄』の瑞慶覧氏が当選した。政府が道路などを造っても、新基地があれば平和な生活が失われる」と市内20カ所の演説で南城市での勝利を強調した。

陣営関係者は「瑞慶覧氏は縁起がいい」。市民目線で戦った手法も参考になるとし、声掛けや企業訪問を徹底する考えだ。

辺野古の賛否を示さない新人、渡具知武豊氏の「争点隠し」にも批判の照準を絞る。市長選と同日投票の市議補選にはへり基地反対協の安次富浩共同代表を擁立。関係者は「セット戦術で基地という争点を再浮上させたい」と話した。

渡具知氏を推薦した公明党支持者にも基地建設に拒否感を持つ層がいると分析。公明批判は慎重に避け、票の取り込みを狙う。

◆想定外、新人側は危機感

「この票差を見てください。同じ結果になったら死んでも死にきれないですよ」。南城市長選で現職が65票差で敗れた衝撃は、渡具知武豊陣営に広がった。南城市の投票翌日の22日朝、陣営幹部は渡具知氏に危機感を持つよう進言した。

陣営関係者は「南城市の敗北は想定外。勝利して勢いに乗るはずだった」と誤算を語る。陣営では今、先手必勝でこなししてきた企業回り、地域回りを再度徹底するよう指示が飛び交う。「社長だけでなく従業員にまで支持を固めきれているのか。地域回りもやったつもりで済ませてはいけない」(同)。

政府との協調路線で財源確保を目指し、給食費、保育費無料化などの目玉政策で支持を訴える渡具知氏。「現市政2期8年の閉塞感は広がっている。現市長にはない施策を市民は求めている」と手応えをみせる。

推薦を決めた公明県本の金城勉代表は「市長権限で辺野古問題を左右することにはならない。基地問題も重要だが市民生活全般も重要だ」と強調。公明市議2人の強い要望を踏まえ推薦を決めたとする。支持母体・創価学会会員や支持者を全県規模で投入し、票の掘り起こしを図る。

◇ ◇ ◇

2月4日投票の名護市長選へ立候補予定の現職の稲嶺進氏(72)、前市議で新人の渡具知武豊氏(56)が激しい前哨戦を繰り広げている。両陣営の動きや争点を追う。

(名護市長選取材班)

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

基地反対は経済発展につながる 翁長知事応援かけつけ 稲嶺ススム市長3選必ず 名護市長選挙

沖縄県の翁長雄志知事は27日、大激戦の名護市長選(28日告示、2月4日投票)で辺野古新基地建設反対の立場を貫く稲嶺ススム市長の応援に入り、市内各地で訴えまし



(写真) 宣伝カーに乗り、稲嶺ススム市長への支援を呼び掛ける翁長知事=27日、沖縄県名護市

た。

保守・中道の政策集団「新しい風・にぬふあぶし」の議員らと宣伝カーに乗り、マイクを握った翁長知事は「平和のもとでの北部地域・名護市の経済発展、世界自然遺産登録を稲嶺市長とともに実現させます」と訴えて回りました。

翁長知事は、中学卒業までの医療費無料化など、稲嶺市長の豊かな実績を紹介。「稲嶺ススムさんは2期8年間、市民とスクラムを組み、教育、福祉、医療、そして行財政改革に取り組んできました。県政と連携し、美しい大浦湾を埋めての辺野古新基地は絶対に造らせない。これから名護市と北部地域では、国際観光リゾート産業など大きな発展が見込まれています。基地に反対することは経済の発展につながる。子や孫のために何としても3期目の勝利を」と力を込めました。

翁長知事は出発前、事務所前で記者団の取材に応じ、自民党の松本文明衆院議員が沖縄県内で相次ぐ米軍機事故に関して「それで何人死んだんだ」とヤジを飛ばし内閣府副大臣を辞任した問題について「あの一言で驚くことではない。沖縄担当副大臣に在任中も沖縄に対する認識が全くなかった」とコメントしました。

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

暴言ヤジ・松本副大臣の辞任 「赤旗」報道で官邸動く

松本文明内閣府副大臣が沖縄県での相次ぐ米軍機事故をめぐって「それで何人死んだんだ」との暴言ヤジを飛ばして辞任した問題について、地元紙・琉球新報は27日付1面トップで報じるとともに、暴言ヤジの「しんぶん赤旗」

の報道を機に官邸が松本氏の辞任へと動いたことを伝えています。

同紙は、25日の衆院本会議で松本氏が暴言ヤジを放った後も26日午後まで松本氏が新年会に参加するなど辞任を否定していたとしたうえで、「辞表提出前に発言を報じていたのは赤旗だった。その後、各社が報道する動きを察知した官邸が即座に動いた」と、安倍政権が名護市長選への影響を恐れて松本氏の「トカゲのしっぽ切り」に踏み切ったと報じています。

実際、松本氏が辞表を提出したのは、日本共産党の小池晃書記局長が26日午後の記者会見で、松本氏のヤジについて沖縄県民の感情を逆なでする「許しがたい、言語道断の暴言だ」と厳しく批判した直後でした。

沖縄タイムスも27日付1面で松本氏の暴言ヤジと辞任を報道。「開いた口が塞がらない。まるで問題を起こした米軍よりも県民を責めるような口ぶりである」(社説)と批判しています。

松本前副大臣やじ、翁長知事が不快感「沖縄への認識全くない」

沖縄タイムス 2018年1月28日 10:22

松本文明衆院議員(自民)が本会議での米軍普天間飛行場所属機の不時着を巡る代表質問中に「それで何人死んだんだ」とやじを飛ばした問題で内閣府副大臣を辞任したことについて、翁長雄志知事は27日、「あの一言でびっくりするようなものではない。沖縄担当の副大臣をされているときも、沖縄に対する認識は全くなかった」と強い不快感を示した。名護市内で記者団の質問に答えた。



翁長知事(資料写真)

一方、県議会は今まで相次ぐ米軍の事故に対し抗議を重ねている。宜野湾市の普天間第二小学校でのヘリの窓落下、うるま市と読谷村でのヘリの不時着は、いずれも全会一致で抗議決議、意見書を可決した。米軍基地関係特別委員会の仲宗根悟委員長は「米軍の事故を受けて日本政府として謝罪していたはずだが、なぜ副大臣からあんな言葉が出てくるのか」と指摘。「個人の人間性の問題もあるかもしれないが、政府の中には南の島に米軍を押し込んでおこうという気持ちがあるのかと思ってしまい、落胆している」と批判した。

志位氏「安倍政権の姿勢、暴言につながった」松本氏ヤジ



沖縄県名護市長選の立候補予定者

を応援するため名護入りした共産党の志位和夫委員長＝27日夕、沖縄県名護市、岡本智撮影
志位和夫・共産党委員長（発言録）

国会でとんでもない出来事が起こりました。私は代表質問で、沖縄の米軍基地問題をただしました。安倍（晋三）首相はまともな答弁、できません。ただ、とんでもないヤジが自民党席から返ってまいりました。松本文明内閣府副大臣が「それで何人死んだんだ」とヤジったんです。

国会議員になって25年、いろんなヤジを浴びてきましたが、今回が一番悪い。なぜなら私に対するヤジじゃない、県民の皆さんへのヤジじゃないですか。「死者が出ていないんだからいいだろう」と言わんばかりの発言じゃないですか。批判に慌てて辞任しましたがね、辞めれば済むというものではありません。こんなとんでもない人物を任命した安倍首相の責任が厳しく問われると思います。

米軍機が事故を起こしても、すぐに訓練を再開してしまいます。その時に、安倍首相は一度でも米軍に「飛ぶな」と言ったことがありますか。一度もないじゃないですか。そうした安倍政権の姿勢がああ暴言につながったことは明らかではないでしょうか。（沖縄県名護市での街頭演説で）

米軍ヘリ不時着に「何人死んだか」 松本副大臣、国会やじで辞任

沖縄タイムス 2018年1月27日 08:26

【東京】松本文明内閣府副大臣（自民）は26日、首相官邸で安倍晋三首相に辞表を提出した。衆院本会議で、普天間飛行場所属機の不時着を巡る質問中に「それで何人死んだんだ」と不適切な内容のやじを飛ばしたことの責任を取った。受理した安倍首相から「国が大変な時期なので緊張感を持って対応してもらわないと困る」と注意されたという。

25日の代表質問で共産党の志位和夫委員長が米軍ヘリの相次ぐ不時着や辺野古新基地建設への対応をただしている時に、やじを飛ばした。

23日に渡名喜村内の急患用ヘリポートに米軍ヘリが不時着したばかりで、桃原優村長は26日、記者団の質問に

「もし人が死んでいたら、あなたはどのようにするのだと逆に聞きたい。言葉が出ない」と憤った。

松本氏は辞表提出前、記者団の質問に答え、「沖縄県民ならびに米軍関係者は、訓練や事件事故で、多くの人命が失われている」と持論を展開。「普天間に基地があるおかげでどれだけ県民と米兵との間で、事故、事件が繰り返されてきたんだよ。いったい今まで何人の人が死んだんだ。これ以上もつと犠牲が増えなきゃ具体的な動き（普天間の辺野古移設）への理解ができないのか」とやじの意図を語った。

辞表提出後、相次ぐ不時着に対する発言ではないと釈明し、「ワンセンテンス口から出たことが、大きく誤解を与えた。予算審議がある中で、沖縄県民や国民に迷惑を掛ける」と話した。

松本氏は、衆院議員で当選4回。衆院比例東京ブロック選出。2017年8月に副大臣に就任してからは拉致問題や地方創生などを担当。15年10月に初めて内閣府副大臣に就任した時は沖縄担当をしていた。

米軍機トラブル「それで何人死んだ」 松本内閣副大臣が国会でやじ、辞任

琉球新報 2018年1月27日 06:00



松本文明氏

自民党の松本文明内閣府副大臣は26日午後、前日の衆院本会議で沖縄の米軍ヘリのトラブルを巡る質問に対し、「それで何人が死んだんだ」とやじを飛ばしたのは不適切だったとして、安倍晋三首相に辞表を提出した。首相は受理した。松本氏は「誤解を招く表現で沖縄県民や国民に迷惑を掛けた。申し訳ない」と語った。

首相は名護市長選への影響を最小限にとどめるため、早期の事態収拾が不可欠だと判断。後任人事の調整を急ぐ。松本氏は議員辞職については否定した。

問題の発言があったのは25日の衆院本会議。代表質問に立った共産党の志位和夫委員長が、県内で米軍ヘリのトラブルが続発していることを挙げ、辺野古新基地建設の中止などを求めた直後、松本氏が自席から「それで何人が死んだんだ」とやじを飛ばした。

官邸で辞表を受け取った首相は「この国が大変な時期なので、緊張感を持って対応してもらわないと困る」などと述べたという。松本氏は記者団に「不徳の致すところとしか言いようがない」と陳謝した。

発言の意図については、普天間飛行場の名護市辺野古移設を推進する必要性を訴え「訓練などで県民や米軍関係者の多くの人命が失われている。それに報いるという思いで言った」と釈明した。

松本氏は衆院当選4回で、衆院比例東京ブロック選出。昨年8月に内閣府副大臣に再任された。2015年の内閣改造で副大臣として沖縄・北方担当を務めたこともある。

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

「それで何人死んだ」 松本副大臣が辞任 首相の任命責任重大 背景に飛行容認 基地ごり押し

沖縄で続発する米軍機事故の異常さをただした日本共産党の志位和夫委員長が衆院本会議(25日)での代表質問に、「それで何人死んだんだ」とヤジを飛ばした自民党の松本文明衆院議員が内閣府副大臣を辞任しました(26日)。「事故はあっても死者が出なければ良い」と言うに等しい発言です。同氏を任命した安倍晋三首相の責任が厳しく問われます。

松本氏は元沖縄・北方担当副大臣。ヤジ直後、本紙の取材に対し、死者が出なければ良いとの考えでは「全然ない」と釈明する一方、「不時着と死者が出るような事故を同等に述べるのはおかしい」とも述べました。

米軍ヘリから重さ8キロもの窓枠が落ちてきた市立普天間第二小(宜野湾市)は当時、体育の授業中でした。死傷者が出なかったのは紙一重のことで、児童や教員、保護者の恐怖は推して知るべしです。米軍ヘリの部品が落下してきた緑ヶ丘保育園(同市)の保護者は「ただただ子供達を守ってほしい」と切実な声を上げています。

住民目線でない

「不時着」か「死者が出るか」で勝手に線引きし、事故発生を当然視する松本氏の弁は、騒音や、事故の危険に日々さらされる住民の目線からあまりにかけ離れています。

松本氏の発言の背景には、安倍政権の沖縄に対する強権姿勢があります。首相は「沖縄の方々の気持ちに寄り添う」と口では言いながら、事故直後から飛行を再開する米軍を容認。県民の反対を一顧だにせず名護市辺野古への新基地建設をごり押しし、「日米同盟の抑止力と海兵隊の存在は極めて重要だ」と言い放っています。

松本氏は、自身のヤジについて「死者が出るような事故が起きる前に(普天間基地の)危険性を除去しないといけない」「名護市に移すことが今まで犠牲になった人に報いるという思いがあった」などと釈明しました。

志位氏の質問は、普天間基地所属の海兵隊軍用機は沖縄全土で事故を起こしており、辺野古に移したところで危険は変わらないと告発し、同基地の無条件撤去などを主張したものです。いったい何を聞いていたのでしょうか。

市長選で審判を

「誤解を招いた」(松本氏)、「緊張感を持ってもらわない

と困る」(安倍晋三首相)のやりとりから分かるように、辞職は名護市長選(28日告示、2月4日投票)直前という時期を問題視したにすぎないことは明白です。

松本氏の暴言に端的に表れた安倍政権の強権的な姿勢を許さず、安心・安全の沖縄の暮らしを築くために、名護市長選で決定的な審判を下す時です。

(前田美咲)

野党、「森友・加計」改めて照準=29日から予算委質疑

国会は週明けから、2017年度補正予算案に関する質疑が衆参両院の予算委員会で行われ、1問1答形式で論戦が本格化する。立憲民主党など主要野党は、昨年に続き学校法人「森友・加計」問題に照準を合わせ、安倍晋三首相の関与や公文書管理の在り方を改めて追及。「働き方改革」法案や防衛力増強に関しても政府の姿勢をたず。

「もり・かけ・スパ」追及=辻元氏

補正の実質審議は、衆院予算委で29、30両日、参院予算委で31日、2月1日にそれぞれ行われる。テレビ中継される基本的質疑の質問時間配分は衆院で与野党「1対2」となった。

29日の衆院予算委は、午前の与党質問に続き、午後から立憲の長妻昭氏ら3人、希望の党の後藤祐一氏ら2人が質問に立つ。森友学園への国有地売却をめぐる、政府が「廃棄済み」と説明していた文書の存在が明らかになったことを受け、立憲は「隠蔽(いんぺい)」と批判。財務省理財局長として売却に関わった佐川宣寿氏を国税庁長官に昇進させた任命責任もたず。

野党側はスーパーコンピューター開発会社による補助金不正受給や、JR東海発注のリニア中央新幹線工事をめぐる談合も取り上げ、政権幹部の関与がなかったか追及する構え。首相に近い同社の葛西敬之名誉会長の参考人招致も要求している。昨年、森友・加計問題で内閣支持率が一時急落した経緯を踏まえ、再び政権に「失点」を負わせたい考えだ。

立憲の枝野幸男代表は27日、さいたま市で記者会見し、これらの問題について「事実を指摘しながら具体的などころを詰めていく」と語った。

立憲などは、働き方法案で残業時間の上限を「月100時間未満」としている点を「過労死容認」と断じ、退勤から出社まで一定の時間を空ける「インターバル規制」を設けるよう主張。また、性能上は敵基地攻撃にも転用可能な長距離巡航ミサイル導入について、「専守防衛を逸脱しかねない」と批判する。(時事通信 2018/01/27-16:50)

森友側「どうするの僕の顔は」 昭恵氏の存在ちらつかせ

朝日新聞デジタル 高島曜介、岡戸佑樹 2018年1月27日 22時17分



森友学園の籠池泰典前理事長

＝ 2017年5月

学校法人・森友学園（大阪市）が開校を予定していた小学校の名誉校長だった安倍晋三首相の妻・昭恵氏。学園側は、土地の値引きを求める場でも「首相夫人」の存在に言及していた。財務省の異例の値引きに昭恵氏は影響したのか。野党は29日に始まる衆参両院の予算委員会で引き続き昭恵氏の招致を求め、追及する方針だ。

「籠池園長の熱い熱い教育に対する思い、お手伝いできれば」

園児に「教育勅語」を唱和させていた森友学園の塚本幼稚園（大阪市）。2015年9月に同園であった講演会で、昭恵氏は聴衆に語りかけた。学園の籠池泰典前理事長はこの日、新設を目指した小学校の名誉校長になってほしいと打診。昭恵氏は引き受けた。

前理事長は、小学校建設を予定していた国有地の取引で、昭恵氏の存在を国に示すようになる。15年秋には政府の昭恵氏付職員が財務省に土地に関して照会。対応した同省担当室長（当時）は16年3月15日、予定地から「新たにごみが見つかった」という前理事長との面会にも応じた。

今回入手した音声データの協議は、同月24日に学園側が土地を買い取ると申し出た直後にあったとみられる。記録されていたのは、こんなやり取りだ。

「新たなごみ」の撤去費を最大…

「棟上げに首相夫人」と値下げ要求 森友、国との協議で 朝日新聞デジタル南彰、久保田一道 2018年1月27日 19時34分



森友学園への国有地売却問題

と安倍昭恵氏

学校法人・森友学園（大阪市）への国有地売却問題で、29日からの衆参両院の予算委員会では安倍晋三首相の妻、昭恵氏と問題との関係が改めて焦点になる。学園が国に土地の購入を申し入れた時期の協議で「棟上げに首相夫人が来る」と言及し、値段を安くするよう求めていたことが新たにわかった。この協議で国の担当者は「(ごみへの補償を)きっちりやるというストーリーはイメージしている」と発言していた。

財務省は昨年11月、特別国会で「ストーリー」という発言などの協議内容の一部を事実と認めている。朝日新聞がノンフィクション作家の菅野完氏から協議を録音した音声データの提供を受けて分析したところ、財務省が認めた内容とその前後のやりとりが記録されており、当時建設中の小学校の名誉校長だった昭恵氏への言及が判明した。

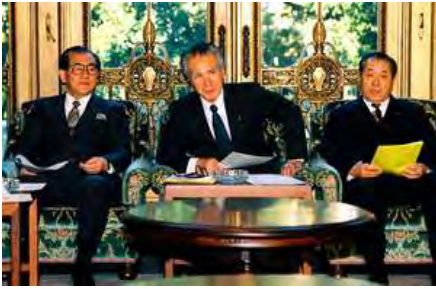
財務省の国会答弁によると、協議があったのは2016年3月下旬～4月。学園側が「地中深くから新たなごみが見つかった」とし、「ごみ撤去費を反映させた評価額で土地を買い取る」と申し入れた以後とみられる。国側は財務省近畿財務局と国土交通省大阪航空局の職員が出席した。

音声データによると、学園側は小学校建設の工期がごみ問題によって「2週間以上遅れている」と説明。籠池泰典前理事長＝詐欺罪で起訴＝が「棟上げのときに首相夫人が来られることになっている」「どうするの僕の顔は」と発言し、学園の関係者が「死ぬ気で値段を下げる」と取り

組んで欲しい」と続けた。約4分の別のやりとりを挟み、財務局の担当者が「(新たなごみの補償を) きちりやるストーリー」と説明していた。

財務省は「個別の発言を確認していないが、協議は学園に資料の提出をお願いするためのものだった。相手方の発言によって国の対応が変わるようなことはなかった」としている。(南彰、久保田一道)

野中氏死去に村山元首相「保守の政治家の良心そのもの」 朝日新聞デジタル 2018年1月27日 15時31分



閣僚会議に出席した

村山富市首相(真ん中)、野中広務国家公安委員長(右) = 1994年11月、国会

自民党幹事長などを歴任した野中広務元官房長官が26日に92歳で死去したことを受け、元社会党委員長の村山富市元首相(93)が27日、コメントを出した。

野中さんは、ハト派リベラル政治を目指した自社さ政権づくりに尽力され、村山内閣では、自治大臣、国家公安委員長として支えて下さり、阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件などこれまで経験したことのない災害や事件に見舞われた際には、優れた政治力で陣頭指揮をとっていただきました。また、何よりも一人の政治家としても本当に親身に助けていただきました。

常に社会的に弱い立場の皆さんに温かいまなざしを向けられ、また沖縄にも心を寄せられていたことが忘れられません。何よりも、ご自身の戦争体験から、反戦、護憲の筋を通された気骨のある信念の政治家でした。政治家の潔さを感じられる、保守の政治家の良心そのものという存在でした。引退後も今の政治に警鐘を鳴らされてきましたが、惜しい政治家を失ったことは本当に残念であり、一つの時代が終わったと感じます。

村山元首相、野中氏の死去悼む 「気骨のある信念の政治家」

共同通信 2018/1/27 15:39



村山富市元首相=2015年

同時に「引退後も今の政治に警鐘を鳴らしてきた。惜しい政治家を失ったことは本当に残念であり、一つの時代が終わったと感じる」と強調。「常に社会的に弱い立場の皆さんに温かいまなざしを向け、沖縄にも心を寄せていたことが忘れられない」と振り返った。

村山元首相、野中氏の死去悼む 「気骨のある信念の政治家」

琉球新報 2018年1月27日 15:39

村山富市元首相は27日、野中広務元官房長官の死去を悼むコメントを、社民党を通じて発表した。「自身の戦争体験から、反戦、護憲の筋を通した気骨のある信念の政治家だった。潔さを感じられる、保守の政治家の良心そのものという存在だった」としのんだ。

同時に「引退後も今の政治に警鐘を鳴らしてきた。惜しい政治家を失ったことは本当に残念であり、一つの時代が終わったと感じる」と強調。「常に社会的に弱い立場の皆さんに温かいまなざしを向け、沖縄にも心を寄せていたことが忘れられない」と振り返った。

野中広務さん死去:「沖縄寄り添った政治家」 県内から惜しむ声

沖縄タイムス 2018年1月27日 13:19

戦争を体験し、沖縄の振興や基地問題に強い思いを抱いてきた野中広務さんが26日、亡くなった。山中貞則さんや小淵恵三さんから続く「沖縄族」の重鎮の訃報に、県内でも悼む声が上がった。



大田昌秀知事(左)と基地問題や振興策などについて意見を交わす野中広務幹事長代理=1997年3月21日、県庁



沖縄サミット閉幕から2週間後、沖縄タイムス社を訪ね、

普天間飛行場代替施設の15年使用期限問題などについて意見を交わす自民党幹事長の野中広務さん(右)。左は青木幹雄さん=2000年8月10日

原点に贖罪意識

元知事の稲嶺恵一さん(84)は先週、野中さんの京都市内の事務所に電話をかけ見舞いを申し入れたが、家族以外は面会できないと断られたという。「かなり具合が悪いのかなと心配していたが、非常に寂しい」と惜しむ。

特に印象深いのは2000年の沖縄サミット。その前年の開催発表前日、内閣官房長官だった野中さんから直接「準備はできているだろうな」と電話があったという。「(首相の)小渕さんの意をくみ、野中さんが大変な政治力を発揮してくれた」。戦争で廃墟(はいきょ)となった沖縄への贖罪(しょくざい)意識が原点にあったとし「政界を引退されてからも、沖縄に寄り添う心をずっと持ち続けていた」と振り返った。

米軍普天間飛行場返還問題では、県や名護市に県内移設容認を迫った。

1997年、当時の比嘉鉄也名護市長(90)が海上へり基地建設の受け入れを表明し辞任すると、涙を流したというエピソードも。比嘉さんは「基地のあるなしに関係なく北部の振興を考えてくれた。道路や通信網も整備され、観光客が多くなった沖縄をもう一度見てほしかった」と話す。

一方、名護市議の仲村善幸さん(70)は名護市沖への移設受け入れを問う市民投票時、へり基地反対協議会の事務局長だった。政府は市民投票が公選挙法上の選挙ではないとの理由で那覇防衛施設局職員を投入。「今と手法は違うが、民意を踏みにじろうとする構図はあの時から変わらない」

政界引退後、安倍政権への危機感を示した野中さんを見て「保守でもリベラルな人だったのだろう」と思いをはせる。「寄り添う心があった野中さんに20年前の介入をどう考えているのか語ってほしかった」

親交があった元日本青年会議所会頭の安里繁信さん(48)は「若造の意見にも耳を傾けるお父さんのような存在。基地問題に大きな進展がないことに心を痛めておられたのに『沖縄は大丈夫』と報告できなかったのが心残りだ」と語った。

孤独な闘士、最後まで貫く

琉球新報 2018年1月27日 01:20

◇評伝

午前6時に鳴った電話口から甲高い声が響いた。

「何や、この記事は。党があきらめても、政府は断念なんかしませんよ」

1999年5月26日の毎日新聞朝刊1面トップは「国旗・国歌法案 政府・自民 今国会の提出断念」という“特

ダネ”だった。目にした野中広務官房長官は番記者の私に「私は闘う」と宣言したのだ。



野中広務氏=宮本明登撮影

今では想像しにくいだが、当時は自民党ですら国旗・国歌法制化に慎重論が強く、小渕恵三首相も2月に一度は国会で「当面法制化しない」と明言していた。

会期が大幅延長され約1カ月後、法案は衆院8割超、参院7割の賛成で成立。剛腕の面目躍如だった。

野中氏は在日朝鮮人、同和、沖縄、ハンセン病などの差別問題に熱心な強面ながら弱者に寄り添うリベラルのイメージだったので、「なぜ右寄りの法案に肩入れするのか」という疑問をしばしば耳にした。

だが、その不可解さこそ野中氏の真骨頂だった。法案は単純な2条構成。

国旗は、日章旗とする。

国歌は、君が代とする。

制定趣旨も歴史も、義務や罰則の規定もない徹底した実務本位である。野中氏は、教育行政の愛国ナショナリズムと教職員組合の反戦平和運動の板挟みになって高校校長が自殺した悲劇を繰り返させたくないと言った。現場の混乱をなくすため思想対立を棚上げする発想だ。イデオロギーへの融通無碍(むげ)と言い換えてもいい。左派は信頼する野中氏なら警戒を緩める。右派は批判しづらい。右と見せて左、左かと思えたら実は右。戦後政治の左右対立を逆手に取り両方のバネを巧みに利用して、現実課題を片付けていく処理能力が野中政治の神髄だった。

法案成立が確実になった時、そんな解説記事を書いたら、野中氏は私をチラリとにらんでつぶやいたものだ。

「インテリさんは、好き勝手に書きよるな」

旧制中学卒業後、旧国鉄に勤務。敗戦の年の兵役経験が終生、反戦の原点となる。

25歳町議、33歳町長、41歳京都府議、53歳副知事。たたき上げの行政手腕、社共革新府政と和戦両様渡り合った議会経験により、57歳で国政に出た時にはベテランの実力を備えていた。

80年代後半、自民単独政権末期を牛耳った竹下派(経世会)で、派閥オーナーの竹下登元首相を後ろ盾に、北朝鮮外交で金丸信会長の信頼も勝ち得る絶妙の立ち位置で頭角を現す。

細川政権誕生で野党に回ると、当時政界最強だった小沢

一郎氏に公然と対抗して自らも台頭。不祥事を暴いて政敵を次々倒す破壊力に加え、自社さ、自自、自自公から今に続く自公体制まで平成政治の激動をけん引した。小渕政権の官房長官が権勢の頂点だろう。

東西冷戦が終わり、左右の対立軸が消えた時代。日本政治も政界再編と国家指針を模索しながらバブル崩壊やテロ・大災害の対応に追われた。時代の特異な難題が野中氏の異能を求めた。連立政治の定着と国家危機管理に果たした功績は評価されるべきだ。

金融危機回避に必要なら野党案を丸のみし、銀行も潰す。敵と味方を大胆に入れ替える手法は「あざとい」と批判され、敵は多く孤独だったが、政治の術の可能性をあれほどまで追求した政治家は多くない。冷徹さの裏に情があり、政治が面白かった。

権勢は長くなかった。病に倒れた小渕氏の後継に森喜朗政権への禅譲を謀議した「密室の5人組」と指弾され、自民党幹事長に栄進しても影を引きずった。

下り坂への転機となった「加藤の乱」で加藤紘一元幹事長が自滅へ突き進んだのは、野中氏の影響下で首相になりたくない反抗期にも似た衝動があった。確かに野中氏は往年の「金丸・竹下・小沢」(略称・コンチクショウ)のようなキングメーカーを狙っていた。野中氏もまた権力のおごりを免れなかったのだ。

国旗・国歌法に野中政治の予見性を見る気がする。今日の政界総保守化を先取りしていた。自由投票だった旧民主党は、衆院本会議採決で賛否真つ二つに割れたトラウマを引きずり昨年、民進党分裂に至った。

野中氏が成立にこだわったのは、公明党政権入りを巡る小沢氏との主導権争いと、法案に慎重な同党に権力を担う覚悟を固めさせるためだった。公明党の政権参画が平成政治史の過半に及ぶ礎は野中氏が築き、端緒は国旗・国歌法だった。

【編集委員・伊藤智永】

野中広務さん死去 「何言っているんだ 被災者救え…」
毎日新聞 2018年1月27日 10時44分(最終更新 1月27日 13時05分)



阪神大震災を受けた緊急会議の後、記者会見する当時自治相の野中広務さん(左端)＝大阪市の府知事公館で1995年1月25日、尾籠章裕撮影
阪神大震災時に被災地対策の陣頭指揮、復興にも尽力

26日に亡くなった自民党元幹事長の野中広務さんは1995年の阪神大震災時に自治相として被災地対策の陣頭指揮を執り、その後も復興に尽力した。ゆかりのあった関係者から悼む声上がる。

元衆院議員(1996～2003年)で兵庫県宝塚市の中川智子市長(70)は、震災から3年後、被災者に最大100万円(当時)を支給する被災者生活再建支援法の成立に向けた議論が大詰めを迎えた時期のことを思い出す。大蔵省(当時)の官僚が「(支援は)私有財産につながり、公費を出すことはできない」と繰り返すのに対し、野中氏はこう説き伏せた。「何を言っているんだ。被災者を救うために大切だからお願いしているんだ。農家が風水害に遭ったら金を出ささう。被災者が立ち上がれないような国は、だめな国になるんだよ」

中川市長は「被災者やハンセン病患者など弱い立場の人たちに対し、惜しみない優しさを持っていた。残念でならない」と語る。市長になってからも携帯電話で度々、激励を受けていたといい、昨年6月、京都で一緒に食事をしたのが最後だった。中川市長は「耳が少し遠くなり、足が痛いと言っていたが、元気な様子だった。覚悟はしていましたが……」とつぶやいた。

神戸大教授時代に阪神大震災を経験した熊本県立大理事長、五百旗頭(いおきべ)真さんは、震災の教訓を踏まえ、国と地元が費用を折半して設置した「人と防災未来センター」(神戸市中央区)のエピソードが忘れられない。「野中さんは当初、ハコモノに慎重だった。しかし地元の熱意を受け、費用を半分ずつにして建設する道筋を付けた。野中さんがいなければ、このシンクタンクは生まれなかった」と振り返る。「人の痛みに心をくだし、筋を通す人だった。間違ったことに対しては、体を張った『闘う政治家』という印象を持っている。今の政治家に野中さんのような気骨を持った人はいない」としのんだ。【高尾具成、元田禎】

野中広務氏死去 「遺骨の一部、嘉数の丘に」 沖縄へ絶えぬ思い

琉球新報 2018年1月27日 07:00



官房長官退任で来県し、県職員から花束を贈られる野中広務氏(中央)と拍手を送る稲嶺恵一知事(左)＝1999年10月22日、県庁

野中広務氏は1998年7月、小渕内閣の官房長官(沖

縄問題担当)に就任して以来、沖縄に積極的に関わり、沖縄振興策や基地政策で主導的役割を果たした。99年1月の自民、自由両党の連立政権発足に伴う内閣改造では沖縄開発庁長官を兼任。99年10月に離任した後も、自民党の幹事長代理、幹事長、沖縄振興委員長などの立場で絶えず沖縄に関わり続けた。

2001年に名桜大で講演した際には、沖縄戦で犠牲になった京都府関係者の慰霊碑「京都の塔」が建立されている宜野湾市の普天間飛行場近くの「嘉数の丘」に自らの遺骨の一部を埋めるよう遺言に記していることを明らかにしている。

沖縄は特別な地だという。1962年の初来沖時に、乗ったタクシーの運転手が「お客さん、あそこで私の妹は殺されたんです。アメリカ軍じゃないんです」と語った思い出を、全回顧録「老兵は死なず」の冒頭で記している。

97年4月に米軍用地特別措置法改正案が可決された際は、同案を審議した特別委員会委員長として「この法律がこれから沖縄県民の上に軍靴で踏みしめるような、そんな結果にならないよう」「大政翼賛会のようにならないよう若い皆さんにお願いしたい」と声を震わせて訴えた。

98年2月、大田昌秀知事が海上基地反対を打ち出すと、それまでと一転して“大田降ろし”に走る。同年8月には、辞任表明した橋本龍太郎首相へあいさつに來なかつた大田氏に対し「人の道に反する」と激しく非難。同11月の県知事選で稲嶺恵一氏を支援するため、全国の先駆けとなつた自公協力の実現に力を注いだ。

政府との協調を掲げた稲嶺県政が誕生すると、沖縄施策全般にわたって存在感を発揮。2000年サミットの沖縄開催について「戦争世代を生きた者の贖罪(しょくざい)」と述べるなど、沖縄への特別な思い入れを表した。

13年4月には、政府主催の「主権回復の日」式典について「沖縄にとっては間違いなく『屈辱の日』。それを祝うというのは私には耐えられない」と政府を痛烈に批判した。

新華社、野中氏死去を報道＝日中関係発展に努力

【北京時事】中国国営新華社通信は27日、野中広務元官房長官が死去したことに關して、「中日友好関係の発展のために多くの努力をした」とたたえる記事を配信した。日中関係を重視した野中氏に対する中国側の評価は高い。

新華社は、野中氏が訪中を重ね、日中友好協会名誉顧問を務めたと紹介した。また、安倍政権を批判し「憲法9条の改正に断固反対し、再び戦争への道を決して歩んではならないと考えていた」と指摘。政界引退後もハト派として存在感を示した野中氏の活動を簡潔に伝えた。

(2018/01/27-15:43)

産経新聞 2018.1.28 10:44 更新

立憲民主党埼玉県連が初会合 26人で出発 枝野幸男

氏「思っていたより多かつた」

立憲民主党は27日、さいたま市内で県連組織「県総支部連合会」の第1回運営委員会を開いた。代表に枝野幸男衆院議員、幹事長に熊谷裕人さいたま市議、顧問に田並胤明元衆院議員と秦哲美元県議とする人事案や党の規約が承認された。県連には国会議員、地方議員ら計26人が名を連ねた。(黄金崎元、川上響)

「思っていたよりも多かつた」。県連副代表だった浅野目義英県議や井上将勝県議ら19人の民進地方議員が移籍したことについて、枝野氏は記者会見後、こう本音を漏らした。今後については「無理をしない中で、できるだけ早く多くの皆さんが参加してくれることを期待している」と記者会見で語ったが、直接的な呼びかけはしないという。

昨年の衆院選で民進が空中分解して以来、地方議員らに混乱を招いているが、枝野氏は「国会議員以外の皆様には、中央の事情でご苦労をお掛けしている」と謝罪した上で「ぜひともに手を携えて国民の皆さんと幅広く肩を組んで進んでいきたいと思う。どうぞよろしくお願い致します」と力を込めた。

会合で集まった地方議員からは、党活動に主体的に参加してもらおう制度「立憲パートナーズ」についての質問などがあつたという。

民進分裂以前から会派を組んでいた民進の地方議員とは関係を維持し、来年の統一地方選では民進の候補者がいる1～2人区で立民の候補者を立てない方針。一方、枝野氏は「(立民と民進の会派の)規模がより大きくなることを目指す。増える分は立憲民主党が担いたい」と党勢拡大に強い意欲を示した。

枝野氏以外の国会議員は3人所属しており、大河原雅子氏が副代表、山川百合子、高木錬太郎両氏が常任幹事となつた。当面は1カ月～1カ月半に1回、運営委員会を開いて体制を整えていく。

■参院選は「独自候補」明言

一方、枝野氏は国政選挙については統一地方選と異なるスタンスを示した。統一地方選は民進県連代表の大野元裕代表、希望の党の大島敦代表代行と基本的に対立候補を出さないという合意がなされているが、来夏の参院選については「埼玉は3人区なので独自候補を立てる。野党と協議しない」と明言。さらに「候補者は私の頭の中にある」と述べ、意中の候補者がいることも明らかにした。

衆院選については「1人区なので、野党が一本化しないといけない。それを考慮しながら、できるだけ候補者を多く立てたい」との考えを示した。また、「昨年9月の騒動の中でいろいろな事情で、今は同じ党ではない人もいる。その中には立民の理念にほぼ一致する人もおり、できれば、変な争いはしたくない」と述べ、秋波を送った。

昨年の衆院選で民進が希望と立民に分裂し、野党が混乱している。希望と民進が統一会派の結成を目指したが、白

紙となった。希望は行田邦子参院議員など結党メンバーが民進合流組との政策や理念の違いを理由に分党も検討している。

分党となれば、民進と希望の一部が合流する可能性もあるが、両党とも支持率が約1%と低迷しており、先行きは厳しい。一方、立民は民進、希望との野党再編に一線を画している。

枝野氏は支持率の高いうちに県内の党勢を拡大し、国政選挙でも多くの候補者を立て、野党内で主導権を握りたい考えだ。

米のTPP復帰検討、IMF専務理事「よい兆候」 ダボス会議 国際協調促す意見相次ぐ

日経新聞 2018/1/27 8:18

世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）は最終日の26日、世界の金融当局者が世界経済の見通しについて議論した。国際通貨基金（IMF）のラガルド専務理事はトランプ米大統領が環太平洋経済連携協定（TPP）への復帰を検討すると表明したことを「よい兆候」と指摘。経済政策で国際協調を高めるべきだとの意見が相次いだ。

IMFはダボス会議に合わせて発表した経済見通しで、2018年および19年の世界の実質国内総生産（GDP）成長率を前年比3.9%増と、17年10月時点から0.2ポイント上方修正した。ラガルド氏は世界経済の状態を良好な「スイートスポット」と表現したうえで「これはいつまでも続かない」と説明。国際協調により、生産性の改善や潜在成長率の押し上げなどの改革が必要と訴えた。

欧州中央銀行（ECB）のクレー専務理事は「世界が今最も必要としていないのは通貨戦争だ」と述べた。24日のムニューシン米財務長官によるドル安容認の発言などを念頭に「最近の異なる発言が相場を大きく変動させていることは有益でない」と語った。

世界経済については、ユーロ圏が好調なほか、米国では減税の景気刺激効果が出ていると指摘。新興国も問題を抱えつつも順調に推移しているとの認識を示した。現状は「すべてのエンジンが稼働している」と説明。「高速道路を最高速度で走っているときは気をつけなければならない。事故を避けるためには国際協調が重要だ」と強調した。

クレー氏は価格が急変動する仮想通貨「ビットコイン」について、3月にアルゼンチンで開く20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議で議論すると表明。資金洗浄に用いられるなど負の側面がある一方、機会も見逃すべきではないとの考えを示した。

「ビットコインは中央銀行に対して、我々の決済システムが過度にコストが高く、遅いことを示している」とも指摘。国際間の支払いなどでより良い決済手段を検討する機会でもあるとみている。

しんぶん赤旗 2018年1月28日(日)

トランプ氏 「米国第一」再び強調 ダボス会議 欧州などから批判

スイスのダボスで開催されている世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）で26日、トランプ米大統領が演説し、自国の利益を最優先にする「米国第一」の姿勢を改めて強調しました。トランプ氏に対しては、欧州諸国などから懸念や批判の声が上がっています。（山崎伸治）

トランプ氏は演説で「米国大統領として、私は常に米国を最優先する。それは他国の指導者が自国を最優先すべきなのと変わらない」と表明。「ただ米国第一は、米国の孤立を意味しない。米国が成長すれば、世界も成長する」と述べました。

企業・富裕層を潤す税制改革を自画自賛し、「今が米国で事業や雇用、投資を行うのに最適だ」と強調。規制緩和をいっそう進める姿勢を示しました。

さらに「自由貿易を支持するが、それは公正で互恵なものでなければならない」と指摘。「相互に利益の得られる2国間貿易協定を交渉する用意がある」と述べるとともに、環太平洋連携協定（TPP）の再交渉に応じる用意のあることを表明しました。

これに対し、トランプ氏の後に演説したゼイド・フセイン国連人権高等弁務官は「20世紀のスピーチ原稿だ」とトランプ氏の演説を批判。「各国が自国の課題の追求だけに専念すると、他国の課題と衝突する。世界を（第1次世界大戦前の）1913年に引き戻すことになる」と述べました。

このほかにもダボス会議では、トランプ氏の「米国第一」をめぐる懸念を示す声が上がっています。

24日に演説したドイツのメルケル首相は「国家主義や大衆迎合主義が見受けられる。多くの国で二極化した雰囲気がある」と指摘。「孤立は救いにならない。協力する必要がある。保護主義は解決策ではない」「私たちは本当に歴史から学んでいるのか」と述べました。

イタリアのジェンティローニ首相は、自国の市民や企業、経済を守ることは当然だが「限度というものがある」と表明。フランスのマクロン大統領も「国際協力の基準」で一致が必要だと述べました。